

提案型協働事業 女性向け起業・創業スタートアップ支援事業

令和6年4月24日

特定非営利活動法人proYELL

県内企業の女性社長率 7 % 全国で 39 番目に低い 民間調査

02月13日 07時45分

県内の企業で女性が社長を務めている割合は去年 10 月末の時点で全体の 7 % と、都道府県別では 5 年連続で 39 番目に低くなったことが、民間の信用調査会社のまとめで分かりました。

民間の信用調査会社「帝国データバンク」によりますと、全国の企業およそ 119 万社のうち、去年 10 月末の時点で女性が社長を務める企業の割合は 8.3 % となっています。

福島県では 7.3 % で、2016 年に 7 % になってからは横ばいの状態が続いていて、東北では最も低く、都道府県別では 5 年連続で 39 番目に低くなりました。

県内の女性社長の就任の経緯では、配偶者や親から事業を引き継ぐ「同族承継」が 58 % と最も多く、本人が会社を立ち上げた「創業者」が 30 % となっています。

また、おととしの調査では県内企業の管理職に占める女性の割合も 10 % ほどにとどまっていたということで、帝国データバンク郡山支店は「社長や管理職などを含めた女性リーダーの輩出は芳しいとはいいがたい。仕事と家庭を両立できる柔軟な働き方を取り入れた制度の整備も踏まえた、育成などのサポートが必要だ」としています。

出典：NHK 福島 NEWS WEB

団体名:特定非営利活動法人proYELL

代表者:理事長 田中 裕志

会員:個人5名、法人・団体12名

目的:

この法人は、地域事業者を応援・プロデュースするプロフェッショナル集団を構築し、実務家ネットワークの相乗効果を発揮して複合的課題解決をサポートすることにより、地域事業者のプロフィット(利益)最大化に寄与することを目的とする。

所属専門家:

＜土業関係＞

税理士、行政書士、司法書士、弁護士、中小企業診断士、社会保険労務士

＜土業以外＞

IT専門家、補助金申請専門家、組織・人材コンサルティング、M&Aサポート、事業継承サポート、銀行借入コンサルティング、認定支援機関、税制優遇申請専門家(経営力向上計画、先端設備導入計画等)

“事業の悩み”をトータルケア!

地域事業者を応援・プロデュースする プロフェッショナル集団

The infographic illustrates the range of business challenges faced by local entrepreneurs and the comprehensive support services provided by proYELL. The concerns are listed in speech bubbles: '新しい事業を起こしたいんだけど' (I want to start a new business but...), 'この見積書の内容は適正なのか知りたい' (I want to know if the content of this estimate is appropriate), '役所から書類出させて言われてるんだけど...' (I'm being told to get documents from the town hall...), '税金どうしよう' (What about taxes?), 'DXを活用したい' (I want to utilize DX), '雇用したいんだけど' (I want to hire someone but...), '引退を考えてるんだけど' (I'm considering retirement but...), '相続ってどうするの' (What do I do about inheritance?), '銀行からお金を借りたい' (I want to borrow money from the bank), '保険を見直したい' (I want to review my insurance), '補助金申請したいけど...' (I want to apply for subsidies but...), and '相続ってどうするの' (What do I do about succession?).

お任せください! 私たちが解決サポートします!

事業者様のお悩みを解決サポートする専門家が集結

- 弁護士 ■ 司法書士 ■ 税理士 ■ 行政書士 ■ 社会保険労務士
- 中小企業診断士 ■ キャリアコンサルタント
- 補助金 ■ IT ■ 借入 ■ デザイン ■ マーケティング ■ 保険 ■ 不動産 ■ 経営

お気軽にご相談ください
(原則相談無料)

市内にも創業塾やサポートがあるが、男性と女性の創業では、事業の起こし方や事業化後の働き方も違いがあり、規模もさまざまである。

生活・仕事環境から副業やプチ創業からスタートすることもあるのが、女性の創業の仕方であり、女性進出・活躍のために有効な方法である。しかし多くが、創業＝ハードルが高いとなっていて、機会を活かしていないこともある。

実際に福島県では、女性が社長を務めているのは7%で、全国で39番目と低い。また、管理職も10%ほどと低く課題がある。(帝国データバンクまとめ)

環境の違いによる
支援のミスマッチ

多様な創業があるが、
知られていない

全国的に低い結果

女性が活躍する場所作り

働きやすい職場環境づくり・女性活躍への取り組み
会津若松市 協働・男女参画室

女性向け副業・創業・事業拡大セミナー
NPO法人proYELL(本事業)

自分に合った「創業」を実現し、
男女共同参画社会の実現を目指す。

○第6次市男女共同参画推進プラン

～「女性の創業支援」の取組について～

- 男女の不平等感を解消し、女性が生き生きと活躍できる「誰もが、住んでよかった、住み続けたいと思えるような魅力ある会津若松市」を目指し、重点的な取組を設定。
- その中で、「② 女性の能力発揮・人材育成」を掲げているが、基本施策として女性限定の創業支援は明記していない。

No.	基本施策	施策の内容	担当課
14	女性の就職支援	ハローワークマザーズコーナーや県男女共生センター、テクノアカデミー会津、ポリテクセンター会津等と連携し、相談窓口や各種講座、職業訓練制度の周知徹底・活用促進を図り、女性のスキルアップと再就職を支援していきます。	商工課

※第6次市男女共同参画推進プランP.34 一部抜粋

○成果と課題

取組	成果	課題
ハローワークマザーズコーナー	・子と一緒に相談 ・就職実現に向けた支援計画 ・寄り添い支援	・起業、創業の支援はない。あくまで、求人している企業の紹介。
県男女共生センター チャレンジ&内職相談	・再就職やキャリアアップ、起業等、女性のチャレンジを支援する相談を振興局内で実施。	・内情は内職相談のみ。相談者も高齢者や生活困窮者が多い。
県事業の紹介	・再就職支援セミナー(R5.9.30) 起業セミナー(R5.11.25)の紹介	・単発で終わってしまい、その後の支援がない。
「市創業支援等支援事業計画」に基づく取組	・「創業支援セミナー」や「起業家応援相談会」などの開催	・対象者の幅が広い分、女性の足が運びにくい実態も想定される。

○必要性

市主催で
対象者を女性
限定とした
創業セミナーは
ない

女性創業希望者の増！

セミナー後の
寄り添い支援が
ない

思いを形に！

女性创业者の
つながりが
ない

孤立防止！

これらを形にしていくためには…？

4つの取り組みで事業をけん引

起業・創業の
「壁」を打破

①創業塾

起業・創業・副業等も含めた女性の多様な事業の起こし方にフォーカスした創業塾を行う。

②伴走型

伴走型でフォロー・サポートも支援を行う。

③補助金支援

事業に必要な費用があった場合は、補助金・助成制度の申請・報告支援を行う。

④ネットワーク

同じ志を持った女性起業家のネットワークを構築し、そのサポートを行っていく。

①創業塾

- 第1回目:オリエンテーション・起業・創業のスタイル
- 第2回目:マインドセット・自分に合った創業を検討する
- 第3回目:事業計画と顧客ニーズ
- 第4回目:マーケティングと営業
- 第5回目:個人ワーク/自分の事業について考える
- 第6回目:グループワーク/課題の共有と、取り組みの検討

②伴走型

事業の立ち上げには、個々の相談で解決が果たせる場合と、メンター・サポーターを必要とし、伴走型で支援したほうが良い場合と2通りある。そして、当法人の特徴は、土業以外に、実際の中小企業の創業者も多く、事業立ち上げ経験が豊富であり、実践力がある。伴走型が有効なのは、やりたい気持ちはあるけど、どのように進めたらいいのか、そのために何が問題なのかが明確でない場合が有効である。思いを形に変える作業は、一人よりサポートがあることで、明確になり、行動の源泉になるので、セミナーや個別相談だけでなく、伴走型もかけ合わせて行うことが、成果に繋がる。

伴走の体制は、NPO法人に所属する12名のいずれかが担当する。担当の割り当ては、事業内容やその方の目指すゴールに相応しいものを選定する。ただし、場合によって、複数で担当することもある。また、伴走支援は、月1回以上の対面と電話・オンラインでのサポートで行っていく。

③補助金 助成金

広告や小規模予算：小規模事業者持続化補助金等
設備投資：ものづくり補助金、省エネ補助金等
雇用・教育関係：業務改善助成金、キャリアアップ助成金等
各担当は、300件以上の実績があり、全国でもトップクラスの実績

④ネット ワーク

セミナーや個別相談は、当法人と個人の繋がりにはなるが、横連携がなく、志を同じくする横のネットワークが少ない。そこで、セミナー卒業生や個別相談者をネットワーク化し、自己研鑽ができる場にする。当法人でも、2か月に一度のセミナーや事例発表会を行っているので、その場も活用してネットワークづくりと、その継続を行えるようにする。

実施体制

【士業関係】

税理士、行政書士、司法書士、弁護士、中小企業診断士、社会保険労務士

【士業以外】

IT専門家、補助金申請専門家、組織・人材コンサルティング、M&Aサポート、事業継承サポート、銀行借入コンサルティング、認定支援機関、税制優遇申請専門家(経営力向上計画、先端設備導入計画等)

計12名の体制

スケジュール

5月:セミナー・伴走の内容検討、チラシ等作成

6月:募集

7月:募集

8月:セミナー1回目、セミナー2回目

9月:セミナー3回目、伴走支援

10月:セミナー4回目、セミナー5回目、伴走支援

11月:セミナー6回目、伴走支援

12月:伴走支援

1月:伴走支援

2月:伴走支援、成果のまとめ

NPO

- 講習会の運営
- 伴走型支援
- 補助金・助成金等の支援制度のサポート
- 起業を目指す女性のネットワークづくり

市役所

- 女性向けエンパワーメント講座を実施してきた成果と課題の共有
- 募集案内
(庁内各所へのチラシの配置、市政だより・ホームページ・情報メール発信等の多様な媒体を活用した募集案内)
- 市ホームページや情報メールを活用した事業報告や優良事例の共有活動
- 女性人材リストや活躍女性ロールモデルの見える化事業との連携

補助事業の目標

セミナー参加数:20名 伴走型支援数:5名
創業数:2名 個別相談数:10名

＜期待される効果＞

副業やプチ創業も含めた創業支援とすることで、多くの方が感じている
起業・創業への「壁」の打破に繋がっていく。
また、プチ創業によって、小さく起業して育てる、
あるいは目的に応じた事業の展開ができることで、次が続いていく人が増え、
女性の社会進出や起業の促進に繋がっていく。